

# フランスにて

2017年3月  
安倍首相と世耕経産大臣がフランスを訪問しました。  
フランスといえば「原子力」  
っということは。。。

2017年3月20日  
日仏首脳会談

(参考資料①)

両首脳は、  
会談後に行われた  
原子力協力に関する世耕経産大臣と  
ロワイヤル環境・エネルギー大臣間文書への署名と、  
日本企業のニューアレバへの出資に関する合意文書  
への署名を歓迎しました。  
両首脳は、  
今後更なる原子力協力を進めていくことで一致  
しました。

2017年3月20日  
世耕経済産業大臣出張 (参考資料②)

ロワイヤル・  
フランス環境・エネルギー・海洋大臣と  
「民生用原子力協力に関する意図表明」  
に署名

参考資料  
①外務省HP 「日仏首脳会談 平成29年3月20日」  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/we/fr/page1\\_000315.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/we/fr/page1_000315.html)  
②経産省HP 「世耕経済産業大臣がドイツ連邦共和国およびフランス共和国へ出張しました」  
<http://www.meti.go.jp/press/2016/03/20170322003/20170322003.html>

# 日本国経済産業省と フランス共和国環境・エネルギー・海洋省との間の 民生用原子力協力に関する意図表明

(参考資料②)

## 1 世界の原子力安全,核セキュリティ及び核不拡散

## 2 核燃料サイクル

両者は、日本における六ヶ所再処理工場及びMOX燃料工場の商業運転に向けての協力の強化を引き続き支援する。

## 3 高速炉

両者は、(中略)

**ASTRID計画及びナトリウム高速炉に関する(中略)**

現在の協力が極めて順調に進められていること、及びこの協力の対象範囲が既に拡大していることを認識する。

両者は、同様の精神をもってこの協力を継続する。

## 4 廃炉及び除染

## 5 産業協力

両者は、核燃料サイクル活動をする

**ニュー・アレバ(NEW AREVA)社への出資に関する**

フランス共和国,アレバ社,  
三菱重工業(MHI)及び日本原燃との間での

**法的文書の署名を歓迎する。**

(中略)

両者は、特に**シノップ計画の進展**に向けて、

トルコのニーズに対応するために

**協力を強化**することで一致した。

## 6 核融合エネルギー

### 最後に一言

なぜ、今、あえて「原子力協力の意図」を表明する文書に署名する必要があるのでしょうか？

この文書によれば「産業協力及び共同研究開発を強化する希望を共有」したからこの文書を作成した、とあるんですが、意味がわかりません。。。

ただ、②③⑤はいずれも核燃料サイクルに関連します。結局「核燃料サイクルを続けるかどうか？」の議論をすっ飛ばして、核燃料サイクルありきで海外から外堀を埋めていっている、ということです。

これまでも指摘しているんですが、「核燃料サイクルを続けるかどうか？」こそ、まず議論しなければならないはずなのに。。。